

アナログプレイヤーの比較試聴(23)

—モーツアルトを聴く(23)—

1. 始めに

前報(22)に引き続き、アナログプレイヤー3機種 of 比較試聴を実施していきます。

2. アナログプレイヤーの比較試聴方法

アナログプレイヤー3機種 of 試聴経路は、ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した前報(18)と同様です。

音源は、モーツアルト of アナログ盤を使用していきますが、今回はアンサンブル of 曲です。

DECCA SLX 2238

モーツアルト クラリネット協奏曲

ホルン協奏曲

Gervase de Peyer (クラリネット)

Burry Tuckwell (ホルン)

Peter Maag 指揮 London Symphony Orchestra

3. アナログプレイヤーの比較試聴結果

ZANDEN Model120 経由 of LINN LP-12 と ThorensTD124 では、DECCA、逆相、第4時定数 High で聴いていきます。

ThorensTD124 の再生では、クラリネットもホルンも柔らかく響きの良い音で、バック of オーケストラ of 肌理 of 粗さは残りますが、バランス of 取れた再生です。

LINN LP-12 の再生では、クラリネットもホルンも細かい質感 of 表現は十分で、バック of オーケストラ of ディテール of 表現も十分です。

Grrad401 の再生では、クラリネットもホルンも豊かな響きで、バック of オーケストラ of 肌理 of 粗さは残りますが、躍動感 of ある再現です。

4. まとめ

ThorensTD124 と Grrad401 の再生経路を変更した結果も、3機種3様 of 再生パフォーマンスが確認できましたが、響きの良さや細かい質感 of 表現など、それぞれの魅力があります。

以上